

MSDS 製品安全データシート

作成:平成26年8月20日

1. 製品及び会社情報

製品名 : BA-CLEAN
会社名 : 株式会社ジェースタイル
住所 : 愛知県小牧市弥生町81
担当部門 : 環境事業部
担当者 : 迫 秀明
電話 : 0568-73-1171
F A X : 0568-73-1172

2. 組成、成分情報

単一・混合の区分: 単一製品 酸化カルシウム(CaO) 強アルカリ性

成分及び含有量

一製品当たりの配合比 : 水(H₂O)99.5%: 固形分(ホタテ貝焼成カルシウム)0.5%
固形分の成分比 : 灰分58.1521% ナトリウム0.2787% リン0.0562% 鉄0.0144%
カルシウム41.3696% カリウム0.0048% マグネシウム0.1238%
亜鉛0.0004% PH12.3±0.3

3. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など : 無色透明
臭い : 無臭
pH : アルカリ性
融点 : 約0°C
沸点 : 約100°C
引火点 : 不燃性
爆発範囲 : 爆発性なし
蒸気圧 : データなし
蒸気密度(空気 = 1) : データなし
比重(密度) : データなし
溶解度 : 水に対し自由に混和する(溶ける)
自然発火温度 : データなし
分解温度 : データなし

4. 有害性情報

<本品のデータがないため、水酸化カルシウムと水の混合物としてGHS分類した。>

急性毒性 : 経口 加算式の適用判定の結果、区分外とした。
皮膚腐食性・刺激性 : 加成式の適用判定の結果、区分外と分類した。
眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 加成式の適用判定の結果、区分外と分類した。
特定標的臓器・全身毒性
(単回ばく露) : カットオフ値の適用判定の結果、区分外とした。

特定標的臓器・全身毒性
(反復ばく露) : カットオフ値の適用判定の結果、区分外とした。

参考【水酸化カルシウムのデータ】

急性毒性 : 経口 : データがないため分類できない。
経皮 : データがないため分類できない。
吸入(粉じん) : データがないため分類できない。

皮膚腐食性・刺激性

: 眼及び気道を含むすべての身体表面ばく露に対し中程度の刺激性を示すとの記述及びヒト皮膚に対してmoderate, severe, corrosiveな 刺激を示すとの記述から区分2とした。
皮膚刺激(区分2)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

: ヒト眼に対して moderate, severe, corrosive な刺激を示すとの記述
及びウサギに対して corrosive な刺激を示すとの記述 から区分1とした。
重篤な眼の損傷(区分1)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

: 呼吸器感作性: データなし
皮膚感作性: データなし

生殖細胞変異原性

: データなし
発がん性: データなし
発がん性: データなし

特定標的臓器・全身毒性

(単回ばく露): ヒト呼吸器、気道を刺激し肺水腫を引き起こすとの記述から 区分1(呼吸器系)とした。
呼吸器系の障害(区分1)

特定標的臓器・全身毒性

(反復ばく露): Priority 2においてヒト肺を冒すことがあるとの記述から 区分2(肺)とした。
長期又は反復ばく露による肺の障害のおそれ(区分2)

吸引性呼吸器有害性

: データなし

5. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 特になし
局所排気・全体換気 : 必要に応じて、局所排気又は全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項 : すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの
取扱いをしてはならない。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
接触回避 : 湿気、水、高温体との接触を避ける。

保管

技術的対策 : 使用する時は、容器をよく振ってから使用する。
容器を開封すると、保管条件により本製品のファクターが変動すること
があるので、開封した場合は、なるべく早く使い切る。
保管場所は、製品が汚染されないよう清潔にする。
保管条件 : 直射日光や高温高湿、凍結を避ける。
なるべく乾燥した場所に保管する。
容器を密閉して冷暗所に保管する。

混触危険物質

: 特になし

6. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は、医師の処置を受ける。
皮膚に付着した場合 : 無刺激性との実験結果があるが、皮膚の弱い方等は水で洗う。
皮膚刺激又は発疹が生じた時は、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合 : 直ちに、水で注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
気分が悪い時は、医師の治療を受ける。
飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、うがいをする。
大量の水を飲んで体内で薄める。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。

7. 火災時の措置

消火剤 : 本品は不燃性である。
周辺火災に応じた消火剤を使用する。
二酸化炭素、粉末消火剤、散水、泡消火剤、乾燥砂
使ってはならない消火剤 : 特になし
特有の危険有害性 : 火災中に刺激性又は毒性のヒュームを発生する可能性がある。
特有の消火方法 : 風上から消火活動をする。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
環境に影響を出さないよう、できるだけ流出を防止する。
消火を行う者の保護 : 空気呼吸器、化学用保護衣を着用し、風上から消火作業を行う。

8. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の取扱条件において安定である。
危険有害反応可能性 : 特になし
避けるべき条件 : 日光、熱、
混触危険物質 : 特になし(強酸性物質や他薬剤とは混ぜて使用しないこと)
危険有害な分解生成物 : 酸化カルシウム

9. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。
都道府県知事などの許可(収集運搬業許可、処分業許可)を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付して廃棄物処理を委託する。
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
(参考)希釈廃棄法
大量の水と共に排水処分する。
- 汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

10. 輸送上の注意

国内規制(適用法令)

- 陸上規制 : 特段の規制なし
海上規制 : 特段の規制なし
航空規制 : 特段の規制なし
特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

重量物を上積みしない。

11. 適用法令 : 特になし

12. その他の情報 : 特になし

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。